

# ◆ 学園彙報 (平成五年度)

## ◆ 図書館だより

本学園図書館では、一人一冊献本運動を展開して十一年目を経過いたしました。お蔭様にて同窓の各聖・各位・有縁の皆様方の献本運動のご協力を賜わり、献本運動の成果も上っております。平素より仁心のご高配・ご厚志に對しまして、館員一同より厚く御礼申し上げます。

### 平成四年度圖書寄贈者ご考名

- 1 愛知学院大学禅研究所殿 「禅研叢書 禅の世界 第二輯」 一冊
- 2 池原鍊昌殿 「春雷」五・六・九・十一・一月号 五冊
- 3 インナートリップ青少年センター殿 「14回全国高校生の主張 (じぶんさがしの旅)」 一冊
- 4 大倉精神文化研究所殿 「大倉邦彦傳」 一冊
- 5 猪俣日康殿 「ブリタニカ国際大百科事典」 全三十二冊
- 6 岡崎嘉平太伝刊行会殿 「岡崎嘉平太伝―信はたて糸愛はよこ糸―」 一冊
- 7 伊藤 信殿 「学園創立90周年記念誌」 一冊
- 8 新井慧蒼殿 「インド見聞録4」南インドの仏蹟とヒンズー教文化を訪ねる旅 一冊

- 9 岩間日勇殿下 「遠野院 智恩院 両院僧列名帳照合本」 他五冊
- 10 木立随学殿 「Lewis & Clark College」
- 11 児島鍊戒殿 「北方領土とシベリヤ抑留」 一冊
- 12 光華会 (浄土真宗本願寺派内事部内) 殿 「親鸞と人間―光華会宗教研究論文集第二巻」
- 13 小松邦彰殿 「日蓮聖人全集 第一巻 定義1」 一冊
- 14 植藤泰隆殿 「求道の旅路」六冊 他五冊
- 15 広報室長 木下昭道殿 「そこう さらに壮大なる未来へ」 二冊
- 16 島原市福祉事務所次長兼福祉係長 森本辨修殿 「鳴動 普賢岳1991」 他一冊
- 17 浅草寺教化部殿 「佛教文化講座第36集」 二冊
- 18 視聴覚資料研究分科会殿 「視聴覚資料研究」 一冊
- 19 志摩坊殿 「水文学と水文化地質学への貢献」
- 20 財団法人 三康文化研究所殿 「財団法人 三康文化研究所報 第二十七号」 一冊
- 21 志村義雄殿 「日本のイノデ属 (シダ植物)」 一冊
- 22 薩青会事務局殿 「歎徳集」 一冊
- 23 杉野一俊殿 「法華経の数の研究」 一冊
- 24 戸田浩暁殿 「支那佛教精史」 他三二冊
- 25 田中慈妙殿 「私の氣くばりのすすめ」 他全四〇冊
- 26 大本山 誕生寺殿 「誕生寺文集」 一冊
- 27 高杉 良殿 「小説 会社再建―太閤をつかむ男―」 二冊

- 28 谷川寛徳殿 「日本名刹名僧録」 一冊
- 29 中央学術研究所殿 「平和の課題と宗教」 一冊
- 30 日蓮宗新聞社殿 「いのちを問う―生・老・病・死―」 他一冊
- 31 日蓮宗北関東教化センター殿 「佛事のしおり」 一冊
- 32 日蓮宗神奈川県第一部布教師会殿 「高座説教次第」 他一冊
- 33 中井健之殿 説 帝国連合艦隊」 他二一五冊
- 34 日本赤十字社山梨県支部支部長 天野 建 「赤十字山梨百年のあゆみ」 一冊
- 35 財団法人 日本原子力文化振興財団殿 「改訂版 プラトニウム物語」 一冊
- 36 成田山新勝寺殿 「佛教文化史論集Ⅰ・Ⅱ」 他二冊
- 37 納税協会連合会殿 「GENERAL TAX STUDIES」 (総合税制研究) 一冊
- 38 財団法人 日本語教育振興協会殿 「一九九二年度版日本語教育施設要覧(日本語版・英語版・中国語版)」
- 39 日本電信電話株式会社広報部「電気通信発展外史」編集担当殿 「電気通信発展外史」 一冊
- 40 本門社殿 「説教(クリ弁)全集 第五巻」 一冊
- 41 法華寺 銅子龍賢殿 「妙喜山 法華寺」 一冊
- 42 福代幸子殿 「世紀の遺書」 一冊
- 43 藤原 肇殿 「山岳誌」 一冊
- 44 日蓮宗布教院院報編集事務局殿 「布教院々報 平成三年度 第四十五回」 一冊
- 45 平沢 実殿「邪馬台国の民族・地理構造」 一冊
- 46 「はまなし」文化の会 山下総業株式会社殿 「はまなし」第二号 一冊
- 47 望月海淑殿 「釈尊伝」三冊 他三三三冊
- 48 松下電器産業株式会社殿 「松下幸之助発言集 三五〇四四二〇冊
- 49 松本光華殿 「民話風法華経童話」その十九・その二二・その二二・その二三・その二四・各十冊 計五〇冊
- 50 町田是正殿 「日蓮和上百遠忌記念集」 他二五五冊
- 51 三智石材殿 「心のたから」 一冊
- 52 明治製菓株式会社殿 「微生物」 二冊
- 53 妙徳寺殿 「広布山妙徳寺三百年史」 一冊
- 54 身延山久遠寺殿 「古文書時代鑑」上・下・解説本 他二冊
- 55 山梨中央銀行殿 「地域とともに」 一冊
- 56 八重洲ブックセンター河相全次郎殿 「マスコミ記事でつづる異色ドキュメント続々日本一のマンモス書店」 一冊
- 57 山梨県町村会殿 「山梨県町村会七十年史」 一冊
- 58 山梨日日新聞社・山梨放送殿 「山日YBSグループ創業120年史 1992」 二冊
- 59 山梨大学教育学部殿 「山梨大学教育学部研究報告 第四十二号」 二冊

- 60 要法寺殿 「要法寺年表」 一冊
- 61 山梨県立美術館殿 「呉 団良展」 他二冊
- 62 山梨県立文学館殿 「飯田蛇笏展 没後30年」図録 一冊
- 63 依田幸雄殿 「日本百科大事典」八冊 他十五冊
- 64 学校法人立正大学学園殿 「立正大学の120年」 一冊
- 65 立正安国会 片岡善藏殿 「日蓮聖人真蹟の世界 上」 他一冊
- 66 渡辺信勝殿 「蓮華草」第8・9号 他一冊
- 67 若狭哲六殿 「女王国邪馬台国の謎に迫る」 一冊
- 68 若野和弘・美苗子殿 「日本現代文学全集 38冊」 他十二冊
- 69 林 はるみ殿 「身延山久遠寺研究」 一冊
- 70 川島本領（本良改め）殿 十万円相当の献本
- 71 栗原 登殿（妙光寺川島本領師信徒） 八五〇〇円相当の献本
- 72 野崎俊彦殿（妙光寺信徒） 三万円相当の献本
- 今後とも、広く皆様様方の「一人一冊献本運動」の御協力を切にお願い申し上げます。本学園図書館には、外国書（原書）の本が少ないので、外国書の献本を多に歓迎しております。また、お手元にある本で、こんな本では必要なかろうという場合でも献本賜わりますれば幸甚に存じます。
- 図書館では、同窓生諸兄・有縁関係者・図書館建設資金御寄付者・献本協力者・研究者等の利用の便を計るために閲覧証

（一年間有効）を一階のカウンターにて用意しておりますので御来館の際には館員にどうかお尋ね下さい。（桑名眞正）

### ◇同窓会本部だより

身延山短期大学学園同窓会大会の開催

平成四年度、同窓会全国支部長会議（役員会）並びに同窓会大会（総会）が平成四年十月二十九日、身延山短期大学学園を会場として左記の式次第にて盛大裡に行われました。

全国支部長会議（役員会）次第 十一時～十二時

司会 桑名眞正

- (1) 玄題三唱（藤井教雄理事長）
  - (2) 開会の言葉（小崎龍雄副会長）
  - (3) 会長挨拶（松井大周会長）
  - (4) 理事長挨拶（藤井教雄理事長）
  - (5) 学長挨拶（宮崎英修学長）
  - (6) 校長挨拶（秋山智孝校長）
  - (7) 学園担当理事報告（刀刀貞如理事）
  - (8) その他（座長小崎龍雄会長を選出し、4年制改組転換について質疑応答する）
  - (9) 玄題三唱（松井大周会長）
- 支部長会議（役員会）議事録
- 1、役員会では身延山短期大学3年制を4年制に改組転換するに当り、物心両面に亘って全面的に協力することを申し

出、同窓会支部長会議の名のもとに別紙のような決議文をつくり、同窓会総会に議案提出をすることを決定した。

2、松井大周会長は多年会長を務められたので、後進にその任を譲る意向を示され会長辞任を申し出られた。

物故者追悼法要（仏殿） 十三時～十四時

大導師 岩間日勇 祝下

協導師 藤井教雄理事長・松井大周会長・岩田日成副会長・

宮崎英修学長

法要終了後仏殿前にて記念撮影

同窓会大会（総会） 次第 十四時～十五時半 司会 望月海英

(1) 玄題三唱（松井大周会長）

(2) 開会の辞（岩田日成副会長）

(3) 会長挨拶（松井大周会長）

(4) 理事長挨拶（藤井教雄理事長）

(5) 学長挨拶（宮崎英修学長）

(6) 校長挨拶（秋山智孝校長）

(7) 永年勤続職員表彰（宮崎英修学長より次の各教職員が表彰された。「宮崎孝先生」「30年」・渡辺寛勝先生「30年」・

中里悠光先生「20年」・今村良枝主任「20年」・佐野やよ

ひ主事「20年」）

(8) 協議事項

1、座長選出（小崎龍雄副会長）

2、庶務報告（桑名貫正庶務幹事）

(イ) 学園同窓会旅費交通規定と学園同窓会慶弔・表彰規定が決定したことを報告す。

(ロ) 同窓会役員の欠員及び辞任の申し出に關して、平成3年度の支部長・役員會議にて中屋教海副会長選任につき、その後任に谷川寛徳師を推挙、大石要英副会長

は病氣により再々辞任の願ひがあり、その後任に永田寿昶師を推挙されたことを報告す。

(ハ) 同窓会の永年役員をされた方に退任御慰勞の感謝状を贈呈する旨を報告す。

(ニ) 事務局費の計上が認められたことを報告す。

(ホ) 支部總會開催の報告。

(ヘ) 同窓会本部に各支部からの講師派遣依頼の現況報告。

(ト) 同窓会の慶弔につき、本部へ連絡がある場合、同窓会本部・同窓会会長名で祝電・弔電をお送りすること

を報告す。

3、會計報告（奥野本洋會計幹事）

別紙記載のとおりに承認された。

4、監査報告（平原要俊監事）

異議なしとの報告、また本部未納の支部に対して請求すべきことを提案される。本年度収入と支出の明細について工夫することの要望が出された。

5、役員選出

永田寿昶副会長より、松井大周会長辞任表明につき、副

会長（岩田日成・小崎龍雄・谷川寛徳・永田寿昶）各型の関係各位との協議の結果、小崎龍雄師を会長に推挙することが決められ、その旨を報告し、総会にて満場一致で承認された。なお、松井大周師と大石要英師は顧問に推挙された。

#### 6、学園理事報告（刃刀貞如学園担当理事）

身延山では開宗七五〇年の大事業の一つとして身延山短期大学を4年制に改組転換し、平成7年開校を目標にして準備委員会が設置され計画を進めている報告があり、学園充実のため同窓会に物心両面の協力要請が出された。

7、各支部長現況報告については、懇親会の席上で報告することになった。

8、その他

(イ) 学園充実の要請についての討議が持たれた。役員会にて草案された決議文（案）が提出され、座長がそれを朗読し、一部の字句の訂正の後、満場一致にて別紙のとおり決議文が採択され、全国同窓生に呼びかけることになった。

(ロ) 同窓会本部会計中より、学園に二百万円を寄付することが決定された。

(ハ) 和身会より現金にて二百万円の寄付が藤井教雄理事長に手渡された。

(ニ) 爪田栄運理事より静岡県は現行の1支部から伊豆（小野欽祥支部長）・駿河（永田寿昶支部長）・遠州（平岡日静支部長）の3支部制にする提案がなされた。以上

支部長・総会での勧募の方法についての討議内容の報告

刃刀学園担当理事より、短期大学を4年制へ改組転換するについての資金の報告があり、そのうち同窓会の方へ割り当て等の心づもりを座長が尋ねたところ、本山でも部長会で相談の結果、図書館の時に1億円近くのお金が集まった経過から2億円くらいの寄付金を希望したいとのことであった。

小崎座長が各支部長・役員に勧募方法について討議を計ったところ、下記のような意見が出された。

1、まず、本部会計にある余裕資金三〇〇万円を寄付していただき、それをもって全国役員の寄付行動の先鞭としたらいかか。（新潟・円山支部長）

2、山梨支部は平成4年6月定期総会の席に刃刀貞如布教部長さんに来てもらい、開宗七五〇年に関し詳細の報告を受け、地元で応分の協力をしようということになった。平成7年開校にむけて平成5年になったら会員各位に協力をしてもいいかと思っているので、各支部も山梨支部のようにガンバッテほしい。（山梨・望月支部長）

3、勧募の件は大変結構なことである。坊さんの勧募の仕方はおうおうにして細かい勧募が出来ていない。確実に2億

円の目標が達成出来るようにしてもらいたい。(兵庫・大塚支部長)

4、学園のしかるべき人が歩かれて下さるような盛り上がり、是非歩いてほしい。地元(京都)でもセットをするので来てもらいたい(京都・奥田支部長代理)

それに対し、学園・本山は積極的に出かけたいとの、学園関係者の返答があった。

5、平成7年に開校を予定しているが、宗門からの助成も早めにお願ひしたらどうか。(青森・佐藤支部長)

6、身延で私も育った人間である。勸募は2億円という数字であるが、もっともっと集めることも可能である。本日の決議文を全国に回したら効果的である。(永田副会長)

#### 決議文

我が身延山短期大学々園同窓会は、

今般の身延山短期大学を四年制に改組することについて、宗祖の行学二道の祖訓に叶うものとして、賛意を表する

一、当同窓会は、四年制身延山大学の実現のため、物心両面に亘って協力する。

一、同窓会としては、金二億円以上を目標額として、勸募する

同窓会諸君、有縁の各聖・各位、浄業円成のため、協力を願ひ、右、決議する

平成四年十月二十九日

身延山短期大学々園同窓会全国大会

(文責 桑名眞正)

#### 研究活動報告

##### (1) 日本印度学仏教学会

第四十三回学術大会は、六月二十日(土)、二十一日(日)の両日にわたり、愛知学院大学(愛知)の主催で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

僧院から仏塔信仰へ

——未発表の新資料を手がかりとして——

金網集の一考察

高橋 堯 昭  
中條 暁 秀

##### (2) 日本宗教学会

第五十一回学術大会は、九月十二日(土)～十四日(月)にわたり、淑徳短期大学(埼玉)の主催で行われた。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

仏教と福祉——「能滅衆生闇」考

渡辺 寛 勝

##### (3) 日本仏教学会

平成四年度学術大会は十月三日(土)、四日(日)の両日にわたり、種智院大学(京都)の主催で行われた。

本学からの発表者とテーマは次の通りである。

日蓮の仏土観

中條 曉 秀

#### (4)日蓮宗教学研究発表大会

第四十五回学術大会は、十一月十六日(月)、十七日(火)の両日にわたり、立正大学(東京)を会場にして開催された。本学からの発表者とテーマは次の通りである。

タキシラの二仏並座像について

高橋 堯 昭

身延山から弟子に与えられた宗祖の遺文について

上田 本 昌

#### (5)日本仏教教育学会

第一回学術大会は、十二月十二日(土)に大正大学を会場として行われた。

本学からの発表者とテーマは次の通りである。

身延山史にみる仏教教育

渡 辺 寛 勝

#### (6)仏教文化講座

本年度の「仏教文化講座」(公開)は、平成五年一月二十三日(土)に、本学園図書館五階会議室において開催された。

講師は静岡県立大学国際関係学部講師 宮田律先生。

テーマは「イスラムの世界」であった。

### 平成四年度 卒業論文一覧

日蓮聖人の人間観

叡山学僧の鎌倉仏教への展開

法華経における地涌の菩薩の一考察

新居日薩上人について — 近代日蓮宗の動向 —

日蓮宗の守護神 — 三十番神信仰 —

南部氏と実長の信仰

日親上人の布教活動とその展開

日蓮聖人の身延での子弟育成について

法華七喻の一考察

石原完爾の日蓮聖人観

日蓮宗の守護神 — 鬼子母神信仰 —

備前における不受不施の事件について

身延対論の一考察

日蓮聖人の身延期の生活の一考察

日蓮聖人の女性観

日蓮聖人の神天上法門についての一考察

我々と三国四師の正道

不変の真実 — 平成の日蓮聖人 —

日蓮聖人の本仏観

小寺 崇 友

上島 英 嗣

海野 義 明

小林 龍 永

坂本 圭 洋

清水 義 和

野口 雅 孝

藤本 潤

吉村 是 修

小向 裕 次

太田 法 広

大野 彰 正

小野 瀬 清

田 辺 学 成

中 田 亜 由 美

長 坂 直 道

永 森 仁

野 中 章 照

皆 川 尚 人

法華經と日蓮聖人——上行菩薩と不輕菩薩について——

持田善治

日蓮聖人における法華經行者の自覚

深谷幸信